

## フランク王国の分裂〈分裂後〉



### 東フランク王国(ドイツ)

- ・ 911年 カロリング朝断絶  
→大諸侯による選挙王政に  
フランケン公コンラート1世選出 (フランケン朝)
- ・ 919年 ザクセン公ハインリヒ1世の選出 ( )
- ・ 936年 ( )が即位
- ・ 955年 レヒフェルトの戦いで( )を破る  
↳ ハンガリー(パンノニア)に定住
- ・ スラヴ人の侵入をしりぞける
- ・ 北イタリアを制圧
- ・ 962年 オットー1世が教皇ヨハネス12世により西ローマ皇帝の位を与えられる  
⇒( )のはじまり
  - ・ 形式上西ヨーロッパ支配者
  - ・ 帝国教会政策(皇帝が聖職者の任命権をもつ)
  - ・ イタリア政策(10~13c)→本国をおろそかにし衰退につながる

### \* 西ローマ帝国おさらい

- ・ 395年 テオドシウス帝によりローマ帝国は東西に分裂
- ・ 476年 ゲルマン人傭兵隊長オドアケルによって滅亡
- ・ 800年 カール大帝が西ローマ皇帝の冠をさずかる  
「西ローマ帝国の復活」

## 西フランク王国(フランス)

- ・ 10 世紀末 カロリング朝断絶  
→有力諸侯による選挙
- ・ パリ伯( )が選出され( )をひらく
- ・ 直轄地はパリとその周辺の( )のみ
- ・ 王に匹敵する大諸侯が多数分立する

## 中部フランク王国(イタリア)

- (・ 855 年 ロタール 1 世の死)
- ・ 875 年 カロリング朝断絶  
神聖ローマ帝国の介入  
イスラーム勢力の侵入 } ⇒混乱
- ・ ( )や( )などの都市が独立  
(強大な王国を保っていたのは、カール大帝と伯などとの個人的な結びつきに過ぎなかったから)

- ・ 843 年 ルートヴィヒ 1 世の死後王国を三分割  
( )  
{ ロタール 1 世……中部フランク王国⇒( )  
{ ルートヴィヒ 2 世…東フランク王国⇒( )  
{ シャルル 2 世……西フランク王国⇒( )
- ・ 870 年 ロタール 1 世の死後、中部フランクを分裂  
( )